

中野本郷小学校における特別支援学級（弱視）の廃止について

1. 特別支援学級（弱視）の現状

中野本郷小学校に設置している特別支援学級（弱視）の通級者は、昨年度までの5年間は6～9名で推移していたが、平成25年度の通級者は6学年が2名、5学年が1名の合計3名となった。

※ 特別支援学級（弱視）を設置しているのは、23区では中野区を含め7区のみで、設置していない区の児童は設置している近隣区又は都立特別支援学校で通級による指導を受けることができる。

2. 廃止理由

現在、中野区立小学校の在籍者で特別支援学級（弱視）の通級を希望する者はいない。また、療育センターの状況からも当該学級の対象となる未就学児はいない。

このような状況から平成27年度には通級者がいなくなり、なおかつ、今後も区内在住者で対象となる児童はほとんどいないと思われるため、中野本郷小学校に設置している当該学級については平成26年度末（平成27年3月）で廃止する。

※ 廃止後に通級希望者が出た場合については、近隣の設置区又は都立特別支援学校への通級が認められるため、通級先の確保はできている。